

加古川市多文化共生社会推進指針 施策体系図

目標(目指す姿)

多様な価値観や文化を認め、国籍や民族などの違いの区別なく 安心して暮らし、その持てる力を十分に発揮し、互いに支え 合い協力し合える、「多文化共生社会」の実現を目指します

指針の施策(7本)

1) 多文化共生への理解促進

【主な方策】

- (1)多文化共生のための意識づくりにつながる事業の推進
- (2)国際交流、多文化共生のための相談、活動拠点の設置、運用

2) 多様な言語、手段による情報提供の充実

【主な方策】

- (1)多言語化での情報発信の強化
- (2)「やさしい日本語」の普及活用

3) 日本語学習支援の充実

【主な方策】

- (1)外国人のための日本語講座事業の充実
- (2)外国人のための日本語教育プライベートレッスン事業の充実
- (3)日本語ボランティア養成講座事業の充実
- (4)地域での日本語指導體制の強化・充実

4) 外国につながる児童生徒への支援の充実

【主な方策】

- (1)学校園等における日本語指導體制の強化
- (2)保護者等への支援強化
- (3)就学状況の把握、就学促進

5) グローバル人材の育成、多文化共生、国際理解推進リーダーの養成

【主な方策】

- (1)教育現場におけるグローバル人材育成のための教育活動の推進
- (2)姉妹都市等との交流・体験事業の推進
- (3)国際交流ボランティアの育成

6) 災害時等外国人等支援体制の整備

【主な方策】

- (1)災害時多言語支援センターの設置
- (2)防災知識の普及啓発
- (3)避難所等での多言語対応の推進

7) 外国人市民の地域づくりへの参画促進

【主な方策】

- (1)外国人市民の声を把握
- (2)外国人ボランティアの登録、活用促進

基本的視点(4点)

- (1) 外国人を含めたすべての市民の人権を尊重します
- (2) 誰もが安全に安心して暮らせるまちを目指します
- (3) 一人一人の多様な文化や価値観を尊重します
- (4) 社会的包摂に配慮した多様性を生かした魅力あるまちづくりにつなげます

具体的取り組み(事業)

推進体制

— 連携・協力・協働 —